

令和 8 年度 第 1 回瑞浪市教育委員会点検評価委員会（要点筆記）

日時：令和 8 年 5 月 18 日（月）13：30～15：45

場所：市役所 4 階 全員協議会室

出席者

委員 加納 礼爾、曾我 順一、安田 小路、西尾 正代、小木曾 誠

事務局 教育長 事務局長、教育総務課長、総務係（2 名）

説明者 学校教育課課長補佐兼教育支援係長、学校教育課教育推進係長、教育総務課課長補佐

学校給食センター所長補佐兼管理・調理係長

司会：教育総務課長

◇ 教育長あいさつ

こんにちは。この度は、点検評価委員を快くお引き受け頂きまして、誠にありがとうございます。また、日頃から学校教育のために、様々な面からご支援ご協力を頂きましてありがとうございます。

点検評価委員会では、令和 6 年度から実施している瑞浪教育プランにある施策に対して、ご意見と評価をいただきます。子どもたちのためになるプランを策定していますが、評価委員の皆さんの率直な意見を出していただくことで、子どもたちのよりよい教育に直接つながっていきます。

いま、北海道大学の先生が書かれた「10 年後のハローワーク」という本を読んでいます。今から 10 年後の子どもたちの働く場所がどうなっているのかという内容です。具体的には、AI の登場によって、無くなる職業やそれに向けた勉強の仕方について予測されています。その中に、仕事に関して、自分で何をするか決める仕事は残って、人から言われてやる仕事は AI に取ってかわられると書いてありました。夢を馬鹿にすると路頭に迷う時代になり、夢というのが将来自分の仕事の力になるということが書いてあります。

瑞浪市の教育プランにも基本理念に「夢と誇りを育む瑞浪の教育」を掲げており、子どもたちの 10 年後、20 年後の生きて働く力になると思っています。

先ほど冒頭で申しましたが、子どもの教育に活かすべく、率直な意見を出していただきますようよろしくお願いいたします。

1 委嘱状交付

任期：令和 8 年 5 月 18 日から当該年度の点検評価に関する審議が終了した日まで

2 自己紹介 委員名簿

3 委員長、委員長職務代理者の選出

委員長：西尾正代氏 委員長職務代理者：小木曾誠氏

4 制度の概要説明 事務局

5 議 事

令和8年度（7年度事業）瑞浪市教育委員会事業評価について

【施策1】

学校教育課教育推進係長説明

施策1	確かな学力の育成
委員	取組①の成果と課題に「生徒が自身を振り返ることができるよさ」とありますが、イメージが湧かないので、具体的に説明してください。
係長	今日考えたことは何だったのか、また、学んだことは何だったのかと振り返る力は非常に大切なことです。学習指導要領に自己調整を図るとありますが、生徒が自分自身の学んだことを客観的、冷静に振り返ることができ、その振り返りを教師が的確に捉えて活かすという内容です。
委員	取組①の実績値について、小学生の理解度は約3ポイント上昇していますが、中学生が下がっているため、全体の数値が下がっています。中学生の内容が難しすぎたということですか。
係長	大きな理由として、内容が高度になることが挙げられます。高度になった内容を教師側がどのように指導するかが重要となってきますので、教師が指導すべきことを明らかにし、子どもが学びやすいと思うように、また、子どもの実態に応じた手立てを打ちたいと考えています。補足ですが、全国学力学習状況調査におきましては、瑞浪市の中学生は全国的に見ても良い結果となっています。
委員	取組②のキャリア教育の充実について、昨年まで現場に立っていた人間として、職員なり子どもが、体験学習がキャリア教育につながっているという意識でやっているのか疑問に感じていました。回数的には問題ありませんが、今後は、体験学習が子どもの将来の技術やキャリ

	ア教育にプラスになることをまとめの段階で意識することが大事だと思います。内容や質を更に向上させていただきたいです。
委員	取組①について、中学校では、理解に不安がある生徒に対して、教育現場では、どのような指導をしていますか。また、ニュースで見ましたが、小学校の算数を数学にした場合の小学生の理解度が気になります。
係長	テスト結果やノートを見ながら、子どもが勉強を好きになるよう指導方法を考えます。指導と評価の一体化を掲げ、指導内容が子どもに伝わっているのか確認し次の授業の改善に活かします。また、子どもたちが頑張ったことや伸びたことを評価し皆さんにお知らせしています。
委員	私が教師の頃は、わからないことをわからないと言える授業を心がけました。先生や友達に気軽に聞ける環境を目指しましたが、なかなか理想通りにいきませんでした。
委員	取組②について、親の立場から発言させていただきます。昨年まで中学生だった長女がいますが、図書館司書という夢があり、市民図書館で体験学習をしてきました。やる気を起こすとても良い経験だったと聞いていたので、このような機会はありがたいと思います。
委員	体験は大切です。私が小学生のころ、担任の家の田植えや稲刈りを手伝いました。良い経験とともに良い思い出として残っています。
委員	そのような体験が4回増えて、達成度が130%になっていますので、充実している証拠だと思います。
評価	委員会評価 A

施策2	豊かな心の育成
委員	取組③に関して、ゲートキーパー養成講座についての説明と進行状況について説明をお願いします。
係長	ゲートキーパーについて内容は把握しているが、講話の仕方や在りかた等については、岐阜県とタイアップして進めます。
委員	令和7年度に瑞浪小学校の道徳教育研究事業があり、代表で授業を見てきたが、生徒も児童も積極的に発言し、プラス思考で取り組んでいることに驚きました。良い傾向だと思います。
委員	取組内容を保護者や地域の人に知ってもらいたいです。保護者やコミュニティ・スクールの委員さん、地域の皆さんに、便りや子どもが書

	いた手紙などを紹介するなどアピールした方が良いと思います。
委員	教科道徳になって何年経ちますか。
係長	５年目になります。
委員	瑞浪市は、教科道徳になる前から力を入れていました。どこかで検証が必要です。また、瑞浪市は過去の実績もありますので、取組②のいじめは、「どんな理由があってもいけない」と考える児童生徒の割合について１００％を目指す必要があります。今回の数値については、「どんな理由があってもいけない」という設問の受け止め方によって１００％になっていない気もしますが、わかれば説明をお願いします。
係長	全国調査結果の他の項目と比較し数値は高いのですが、１００％になってほしいと思います。「どんな理由」の定義もありますが、意図や意味をしっかりと指導する必要があります。
委員	いじめは根深くなる前に対処しなくてははいけません。高校の社会科の授業で基本的人権や法の下での平等や命の大切さを教えていたが、生徒がしっかり受け止めてくれたのか不安があったのは確かです。
委員	いじめは理由があればやむを得ないと思う子どもの割合は、１００人中２人です。真意はわかりませんが、面談とかで、昔悪口を言われたから少しぐらいいじめても良いのではと正直に話す子どももいました。１００％を目指してほしいです。
委員	小学生にとって、親に対してでも自分の思いを正確に伝えることが困難です。取組③の自殺予防教育について内容を教えてください。
係長	相談しやすい職員や場所づくり、体制づくりから行っています。また、本人の心の治療が一番大切であることから、呼びかけや安心できる雰囲気づくりも行っています。
委員	取組①について、瑞浪市の実績値は高いと思います。自分に厳しい子どもが多いのでしょうか。目指す場所が高いことや親の望みが高すぎることも関係しているかもしれません。９０％は超えていませんが、順調だと思います。それでは、総合的にみて評価をしてください。
委員	昨年度は、親との関連もありますが、瑞浪市で可哀想な事故がありました。いじめに関しては、１００％に到達してほしいです。教員時代に野球部で自分も同じことをされたらと暴力事件が起きました。野球連盟には報告しましたが、そういった根強いものがあると改善が難しいと思います。
委員	瑞浪市には過去の実績もありますので、簡単にＡ評価はできません。

	風化させてはいけません。
委員	全国学力調査の質問用紙後、設問の意味を子ども達に考えさせる必要があります。
委員	親としては100%を目指してほしいです。
評価	委員会評価 B

施策3	一人一人の実態に応じた指導・援助の充実
委員	取組②の校内教育支援センターの整備率について、令和7年度は、中学校3校と瑞浪小学校や明世小学校、稲津小学校が整備されていると思います。残り4校ですが、ニーズはあるのでしょうか。
委員	欠席者が0人の日が多い学校もあると思います。
係長	確認しておきます。
委員	現時点での設置は不要でも、今後ニーズが生じた際に迅速に設置できるよう、事前の準備をお願いいたします。
委員	取組①の次年度の取組方針にある担任や授業者と学業支援員の連携が本当に大事だと思います。連携するためには、時間を確保する必要があります。伝えなければならないことが伝えられないために支援がうまく進まないことがあってはなりません。 校内教育支援センターという名前に堅いイメージがあります。もう少し柔らかい子どもが行きやすい名前だと足を一歩入れやすいのかなと思います。
委員	各学校で名前は変えています。
委員	とても必要な施設だと思います。中学校を卒業した後はどこに相談すれば良いか、つなぎみたいな仕組みがあると良いですね。本当は、中学校を卒業する前に自立できることを願っています。 カウンセラーの回数がもう少し多いと充実するのではないのでしょうか。保護者や教員にもカウンセラー目線でアドバイスをいただきたいです。そうすれば、アドバイスを受けた子どもの居場所ができます。
委員	カウンセラーは校区ごとに1人です。北中学校は学校数が多い分不十分と感じたかもしれません。
委員	市内の高校の例ですが、相談の担当教員が4人おり、月に3回カウンセラーが来ています。環境の変化で不登校になる生徒には通信課程を勧めています。担当教員の大変さを直接見てきています。
委員	特別支援教育の充実は大切です。そのためのニーズ調査は、毎年行わ

	れていますか。
係長	利用率調査を含めこぶし教室と協力し、校内教育支援センターがない学校にも、こぶし教室がありますと案内チラシを配布しています。
委員	校内教育支援センターの整備は増えています。いざという時に誰かに相談できる環境をさらに整えていけたらと考えています。
評価	委員会評価 A

施策 4	教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
委員	昨年度は、タブレットは、道具として使い、書くことも大切にしてほしいという話が出ました。
委員	現場で思ったことは、タブレットを使っているフリをしている子どもがいることです。必要な時に必要な情報を得るツールとして使用してほしいです。〇×ですぐに答えが出るゲーム感覚の勉強ではなく、自分の考えを文章にしながら答えを見つける勉強に意味があると感じます。
委員	私の苦手な分野ではあるのですが、書くことも大切だと思っています。大学生なんかもAIを使ってレポートを作った場合、やはりわかってしまうわけです。活用はしているが、自分の意見をきちんと言えんかという部分も大切です。
委員	情報過多の影響もあり、自分で情報の整理や理解を図る必要があります。タブレットの整備による情報推進教育を掲げているのに敢えて手書きによる推進を次年度の方針にすることについて、余程の理由があるのでしょうか。
係長	脳科学的に書くことによる定着が立証されています。たしかに、ICTでの振り返りも、時間や場所において有効です。自分の考えを手で書いてまとめたり、タブレットを使って効果的な発表を行ったりしています。
委員	瑞浪市の方針となるので、学校の理解を得る必要はありますね。
委員	自分の子どももタブレットを家に持ち帰ってきますが、学習に役立てており、今の時代は大事だと思っています。 成果と課題にある、「自分で情報の整理や理解を図る必要がある」について、自分の子どもも言葉でまとめて説明することが苦手です。そういった力の必要性を認識して進めてほしいです。
委員	子どもたちですが、学習発表会で、画像を入れてわかりやすく発表し

	ています。技術も向上していますし、考えて効果的に活用する力がついていると実感しています。 ただし、教員の授業での活用について、教員に差が出ないように研修などを行ってほしいです。
評価	委員会評価 A

施策 5	健やかな体づくりと食育の推進
委員	取組②について、本日の献立を見ても、県内産が多かったのですが、実績値をみると意外と県内産の使用は少ないと感じました。何か理由がありますか。
係長	県内産の材料を使うよう指示していますが、天候等により県外産の材料に切り替えざるを得ない場合があります、毎年この程度の割合です。
委員	給食の時間に流れる「給食センターより」という放送は素晴らしい食育です。今日も子どもたちは姿勢を正して食事をしていました。これからも続けてください。
委員	取組③に朝食を家庭で食べることにについて、家庭環境にもよりますが、100%に近づけていきたいです。
委員	取組①の体力テストについて、実績値が下がっていることについて、何かしら対策が必要だと思います。次年度取組方針の「運動に親しむ楽しさや良さを推進していきます。」というこの言葉だけの裏に、もっと細かな手立てを各学校に助言していただけるようなものをもたなくてはなりません。なぜかと言えば、最近の逆転現象として、田舎の子どもの方が運動しなくなりました。バスの利用や親の車に乗せてもらう子どもが多いためです。瑞浪小学校の児童が一番歩いていると思います。昔の瑞浪市は70%を超えていたように思います。 「運動に親しむ楽しさや良さを推進する」の中身を具体的にしなければと思います。ただ、それをどこで担うかと考えたときに、健康教育委員会がデータをまとめているだけではなく、どうしたら良いかを発信してほしいですね。 余談になります。学校から離れて3年経ちますが、牛乳を飲むことが少なくなり、バランスの取れた給食の良さを実感しました。時々テレビで他県の学校の給食が流れるときがありますが、瑞浪市の給食の良さを実感しています。インスタもっとアピールしてください。また、給食の放送についても、保護者にアピールしてください。

委員	体力テストの数値が下がったことについて、以前特に良かった中学校の数値が悪くなったとか部活動がなくなってきたからとか、何か傾向はありますか。各学校において、実態に応じた対策をしてほしいです。
係長	健康教育委員会の分析によれば、コロナ禍やそれ以降に運動にふれる機会が少なくなったことが大きいとあります。また、小学生につきましては、運動が苦手と感じている児童が多くなっている傾向にあります。この分析結果を各学校で参考にいただき、市の教育研究会の体育部会でも活用していきます。また、ICM 通信という教育研究所のウェブサイトでも活用の仕方を含め紹介していきます。
委員	子ども達に任せてみたら、毎日サッカーしかなかった学年がありました。コロナ禍で手を使った運動をしない幼少期を過ごしたらしく、ドッジボールなどをしない子どもがいたことが気になりました。ボールをつかむなどのバランスよく運動をさせる必要があります。大学の先生に基本運動を楽しく指導していただいたことがありましたが、体育の授業の前に準備運動的に活用していただき、楽しく体を動かすことを意識してもらいたいです。 食育関係について、ウェブサイトを確認し意識の高い親も多いです。意識レベルの問題で、自分の子どもの朝食を作る・作らないもありますが、市としては情報発信するしかありません。保護者試食会の栄養講話を聴いて、この野菜でこんな料理ができる、この調理法なら子どもが食べやすいと感想をいただきました。これを続けることで、家庭でもバランスよく食べることができると思います。続けてください。
委員	体を動かす機会が家庭でも減ってきています。私が小さい頃は、山に入って遊び、近所の友達と毎日外で遊ぶことが当たり前でした。今の子どもたちは、危ないからと言われ山で遊ばせん。児童数が減っており、歩いて行ける距離に友達はいません。 YouTube やゲームが盛んになり屋内で遊ぶことが多い中、陶小学校では、休み時間に外に出てみんなで遊ぶ時間が確保されており、ありがたいと思っています。また、毎朝のルーティンとして、給食の献立表を見ることを楽しみにしています。毎日おいしい給食をありがとうございます。 インスタについては、知りませんでしたので、フォローしていきたいと思っています。
委員	私が小学校の低学年の頃は、脱脂粉乳とパンでした。今の献立はいろ

	いろと考えてみえますね。 運動面では、数値は少し下がっていますが、夏場に31℃を超え運動制限がかかる中、朝に活動するとか体育の時間を朝にするとか工夫をされてみえます。聞くとところによると運動することで脳が活性化され成績も上がるそうです。運動が苦手な子どもも色々な運動の機会を通して運動を好きになってほしいです。
委員	先日栄養教諭と話をしましたが、機械の老朽化に加え人手が足りないとのことです。人手が足りないときは、ネット求人で募集していたそうです。続くかわからない人達に責任が伴う仕事を任せるのはどうかとの考えもあるそうです。予算を確保して機器を更新して設備を整えていただき、時給を上げるなど雇用条件を良くすることで人員を確保していただきたいです。
委員	取組①と取組②と取組③は一緒に評価することが難しいと思います。取組①以外はA評価ですが、取組①は、懸念事項としたいです。
委員	施策2と同じで、さらにというところを求め、総合的にBと評価します。 先ほど、陶小学校の話が出ましたが、15分休みも昼休みも先生を含め、ほとんどの子どもが教室からいなくなります。各学校の状況にもよりますが、運動が楽しいと思う子どもを増やしていただきたいです。
評価	委員会評価 B

施策6	学校・家庭・地域の連携・協働の推進
委員	取組②のデータ指数と取組内容にある家庭学習の充実は少し離れています。親も子どもと一緒に学ぶ場という理解でした。学校での出来事を家族に話すことが家庭教育に繋がります。
係長	取組内容を修正します。
委員	取組②の成果として、「家庭学習で取り組むべき内容を明らかにすることで、家庭学習の充実を図ることができました」とありますが、一定の成果があったということですか。何か裏付けるデータはありますか。
係長	学校での出来事や趣味、友達のことなど家族と一緒に話をすることがある児童生徒の割合でとらえており、勉強がどんな感じなのか、困っていることがあるとか、踏み込んだ話し合いであったのかまでは把握していません。

委員	この基本計画では、どちらが最初にスタートしているかにも関わってきます。方向を変えらるとなると、基本計画そのものの見直しとなります。家庭学習に特化しないという理解ですね。
委員	成果と課題の修正はどのようにしますか。
係長	児童生徒の割合からどう分析するのかを洗いなおします。
委員	取組③について、学校運営協議会の当事者として頭の痛いことが書いてあります。子どもたちはコミュニティ・スクールの活動について知っていますが、保護者の多くは知りません。周知する必要があります。瑞浪小学校や瑞浪中学校では、一番のメインとして、4年目となる挨拶運動から保護者も含め皆さん一体となって取り組んでいます。 フジバカマを植える活動も瑞浪中学校でもやろうと思いましたが、校舎の工事に入ってしまうと断念しました。保護者に対する活動自体の認知度を上げるため新聞等で広報していますが苦勞している状況です。
委員	私自身も学校運営協議会について、3年前にPTA活動に携わってから知りました。学校やまちづくり協議会も紙面等で情報発信をしていますが、感心がないと周知が難しいと思いました。
委員	取組④について、生涯学習課では、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について、毎日話題になります。コミュニティ・スクールに関しては、学校が中心となる運営協議会ですが、地域学校協働活動は生涯学習課です。どちらがメインという話ではありませんが、子どもにとってはすごく良い取組です。学校教育課、生涯学習課、地域学校協働活動の担当者が意見交換し、共通認識が大切だと思います。また、地域学校協働活動の活動資金の工面について話が出ます。発足して間もないですが、上手く機能するシステムを構築する必要があると感じます。 あと、コミュニティ・スクールの担当者の業務量からみて、コミュニティ・スクールの会議に対して対応し切れているのか心配になります。関われる時間を確保してあげる必要があるのではないかと思います。
委員	取組④については、8校から9校になっていますが、10校中まだ1校対策が残っています。個人的には早急に対応してほしいと思います。すべての項目で100%を達成していないところもありますが、実績値は伸びています。
評価	委員会評価 A

施策 7	学校環境等の整備
委員	瑞浪小学校のエレベーターは設置する予定ですか。1階でしか勉強できなかった肢体不自由の子どもが2階3階に上られるようになります。
係長	実施設計では取り付ける方向で進めています。
委員	体育館の空調設備の設置について、最終的に全校設置する予定ですか。2年に1校のペースですか。
係長	全校設置する予定です。国の補助金等が充実しており、今後も計画的に設置できるよう進めていきます。
委員	市の体育館も付ければ良かったですね。
委員	洋式トイレについても着々と実施しています。ありがたいです。
委員	大規模改修については、計画どおり進んでいますか。
係長	学校が重ならないように計画どおり進めています。
委員	学習する環境は児童生徒にとって大切だと思います。
委員	LED は、本当に明るいですね。蛍光灯だと冬の寒い時期は、暗かったり使えなかったりしました。
委員	体育館に空調が設置されれば、3時間目以降も体育の時間で使えます。今は、熱中症対策で1時間目と2時間目しか使えません。
委員	休み時間に使いたいですね。涼しいところで体を動かして体力づくりを行いたいです。
委員	順番にでも遊ばせないと体力的に落ちていくかもしれませんね。水道光熱費の予算がつけば良いです。
委員	大規模改修やトイレ改修など学校や業者との打ち合わせに苦労があると思います。引き続き計画的に環境整備を行ってください。
評価	委員会評価 A

委員	今年度は、施策2と5がBで、あとはAとして委員の意見がまとまりました。その他、言い忘れも含めて何か意見はありませんか。
委員	施策6の取組②の家庭教育の件ですが、取組に保護者に対する情報提供や学習機会の充実とあります。家庭で勉強を教えることも大切ですが、それ以外にもハグをすることの大切さ等の情報提供なども意識してほしいと思います。取組について、来年度変えられなくても、9年度10年度にその部分のアピールをお願いしたいです。

委員	次年度の取組は変えることが可能ですか。
事務局	今回の意見を踏まえて、7月の委員会にて提案させていただきます。
委員	指標と取組が合ってきますので、修正をお願いします。